

創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議
構成員の主な意見

○岩崎（真）構成員

- 創薬バリューチェーンの一部が不十分であり、特にCDMOに関しては、国の戦略的投資として考えていく必要があるのではないかな。
- 医療産業を成長産業としてとらえ、国際連携の推進・国としてのリーダーシップ・市場の魅力度の向上といった産業政策が必要ではないかな。
- ◇ 異分野から創薬への参入を考えるスタートアップが増えてきているが、従来型の創薬スタートアップも含め、自社では能力強化が難しい薬事や知財のサポートを充実させるべきではないかな。
- ◇ グローバル市場への進出という観点を考慮すべきであるが、公的保険外のマーケットも含め、我が国の医療、医薬品市場の魅力度を高めることがエコシステムの構築に重要ではないかな。

○岩崎（甫）構成員

- バイオモダリティの創薬は、その原薬を作るという技術も日本になく、CDMOをつくれればいいという単純な話ではないのではないかな。
- 長期的目線では薬学教育・医学教育の在り方といったことを考えるべきではないかな。
- ◇ 各事業における成果の統合・連携の推進による戦略的マネジメントと、メリハリの利いたGo/No Go判断による、柔軟性のあるファンディングを推進し、AMED（日本医療研究開発機構）の機能強化を図るべきではないかな。
- ◇ 企業の参入が困難な研究開発事例に対して、薬事承認・社会実装が実行できる公的な組織が必要ではないかな。

○上原構成員

- 国民の自助意識が重要であり、健康上の問題に対するプライマリーケアの体制と国民への教育を充実させるべきではないかな。
- 関連する資格やOTCの製造者・販売者の在り方について見直すべきではないかな。

○高橋構成員

- これまで医療を成長産業にしようという政策がなく、研修医制度などにより研究環境を破壊してしまったのではないかな。
- 創薬国家戦略は非常に重要で、バイオ創薬のインフラを国として構築していくべきではないかな。
- ◇ 革新的な医薬品に対して、互助的な民間保険といった公的医療外の別財源を充てるべ

きではないか。

- ◇ 世界の中での日本といった考え方に立ち、我が国に世界のVCや人材を呼び込む、あるいは世界のエコシステムに入り、我が国のイノベーションを世界へ展開するべきではないか。

○永井構成員

- 日本の創薬エコシステムの核となるインキュベーション機能を、国が主導して構築するべきではないか。
- VCやアクセラレーターといった我が国で不足している機能に関しては、海外から組織・人材を呼び寄せる必要があるのではないか。

○藤原構成員

- 国際共同臨床試験ならびに同・治験を日本がリードして組めないこと、実施できないことが、大きな阻害要因になっているのではないか。
- 医学教育、看護教育、理工学教育において卒前・卒後共、良い診療を実現するためのエビデンス構築が大切であること、臨床試験の重要性を認知させたり臨床試験の方法論を学べる教育・レギュラトリーサイエンス教育を組み込むべきではないか。
- ◇ 基礎研究やトランスレーショナルリサーチの振興のみでは我が国の創薬力向上は困難であり、これまでないがしろにされてきた後期臨床開発や臨床試験に着目すべきではないか。
- ◇ 医療機関において臨床試験実施を国際水準で行える体制整備を行い、そこで従事する人材育成を推進するべきではないか。医師以外のメディカルスタッフや事務職も含めた人材育成も意識すべきではないか。医薬品等の製造や品質管理の強化を進めるべきではないか。

○牧構成員

- ◇ 創薬エコシステムを構成する各プレイヤーのインセンティブを最大化するため、プロフィットの明確化によりスタートアップのエグジットの予見可能性を高めるとともに、エグジットまでのコストを削減するべきではないか。
- ◇ 我が国では創薬スタートアップに対するVCの投資が少ない状況であるが、政府がVC投資を一時的に肩代わりしても、エコシステムの循環は維持されないのではないか。
- ◇ アクセラレーターの設計にあたっては、Venture Creation Modelといった海外の仕組みを参考に我が国の特性に合った在り方を検討すべきではないか。
- ◇ エコシステムの構築に向けた政策は長期的な視点を持つ必要があり、組織体制や予算が継続的に担保され、持続的に政策が実施される在り方を実現すべきではないか。

○間野構成員

- 日本の創薬力は低下してきており、バイオ医薬品といった新しいモダリティに対するものづくりが抜け落ちていることが最大の原因ではないか。
- 欧米は創薬国家戦略を定めている。国としてバイオ医薬品を支援して、早期開発、臨床試験まで持っていくような施設や支援組織が必要ではないか。

○南構成員

- 現状の背景に長年にわたる国策としての視点の欠如がある。産業政策だけでなく、文教政策も含め、創薬力を上げるための総合的戦略を出口にするべきで、あらゆる分野からの協力が必要だ。
- 社会的には、皆保険制度の実態や健康について国民の意識改革が不可欠だ。

○山崎構成員

- バイオCDMOやCROが日本は弱く、海外に任せている。この部分は、日本が本当に大変強くなり得る部分で、本当は海外から受注するぐらいの産業へ強化していくべきではないか。

以上

- 1回目会議での意見
- ◇ 2回目会議での意見